

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
教志	教志入門	2	4	コース生必修

<b>到達目標</b>	教育に対する志を高めるとともに、進学後の学習活動に対するモチベーションや、進学に向けての学力向上に対するモチベーションを高める。
-------------	--

### 年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1年間を通して	<p><b>【講義】</b>  「教育全般を通して」  学校教育とは、その特性や教師像など  「教科指導を通して」  教師に必要な知識、教材研究など  「学校生活を通して」  担任・生徒の関係、部活・行事の取り組みや担任業務、生徒指導や法制度  「保護者や地域との関係を通して」  保護者、地域に対しての視点など  「学校運営の観点から」  教科や分掌間のつながりなど</p> <p><b>【実地実習】</b>  ・オリエンテーション  実習を行うに当たってのマナーなど  ・実地実習  幼保小中支援の教育活動に触れる  ・実習の振り返り  実習をとおして学んだ事、現場で気付いたことを振り返り、まとめと発表を行う。</p>	<p>左記の実施内容については、期間ごとに内容を決めて実施するものではありません。年間を通して、順不同に実施する予定です。</p> <p>左記の5つのテーマを中心として、それ以外の内容についても実施されることがあります。</p> <p>実地実習をうける心構えを整え、1年間の目標をしっかりと立てよう。</p> <p>児童・生徒の様子、教師の動きを観察しよう。教師の仕事を観察し、教師として必要なことは何か考えよう。</p> <p>1年間の振り返り、これからすべきことの目標を立てよう。</p>	<p>大学を中心とした外部講師による講義になります。</p> <p>本校教員によるオリエンテーション。実習ノートには目標や実習時に記録すべきことなどを記入する欄を設ける。</p>

<b>評価方法と評価のポイント</b>	<p><b>【講義】</b>  高校教員が出席状況、受講態度、レポートの提出状況と内容などを総合的に判断する。  ①出席状況 ②受講態度 ③レポートの提出状況 ④レポートの内容</p> <p><b>【実地実習】</b>  講義感想文・実習ノートなどの提出、発表</p>
---------------------	--

<b>教科からのアドバイス</b>	<p>意欲的に、学ぼうという姿勢を持ち続けること。また、実地実習を行うに当たっては、何事に対しても前向きに取り組む姿勢が必要となります。</p>
-------------------	--